

1 長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典



写真提供 長崎市

開催概要 (平成25年度)

歳事名：長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典
 会場：平和公園内 願いのゾーン 平和祈念像前
 住所：長崎県長崎市松山町9
 (JR長崎駅より 長崎電気軌道「松山町」停留場 徒歩5分)
 日時：平成25年8月9日(金) ※例年8月9日開催
 参加者数：6,300人
 連絡先：長崎市 市民局 原爆被爆対策部 調査課 095-829-1147 (直通)

式次第 (平成25年度)

1. 被爆者合唱
2. 開式、原爆死没者名奉安
3. 式辞…長崎市議会議長 板坂博之
4. 献水
5. 献花
6. 黙とう
7. 平和宣言…長崎市長 田上富久
8. 平和への誓い…被爆者代表 築城昭平
9. 児童合唱
10. 来賓挨拶…内閣総理大臣 安倍晋三、長崎県知事 中村法道
11. 合唱「千羽鶴」
12. 閉式

長崎平和宣言 (平成25年度)

68年前の今日、このまちの上空にアメリカの爆撃機が一発の原子爆弾を投下しました。熱線、爆風、放射線の力は凄まじく、長後から起こった火災は一昼夜続きました。人々が暮らしていたまちは一瞬で破壊となり、24万人の市民のうち15万人が傷つきました。そのうち7万4千人の方が命を奪われました。生き残った被爆者は、68年たった今もなお、放射線による白血病やがん発病への不安、そして深い心の傷を抱え続けています。

このむごい兵器をつくったのは人間です。広島と長崎で、二度までも使ったのも人間です。核実験を繰り返して地球を汚染し続けているのも人間です。人間はこれまで数々の過ちを犯してきました。だからこそ忘れてはならない過去の誓いを、立ち返るべき原点を、祈りにふれ確かめなければなりません。

日本政府は、被爆国としての原罪を返すことを求めます。

今年4月、ジュネーブで開催された核不拡散条約(NPT)再検討会議準備委員会が提出された核兵器の非人道性を訴える共同声明に、80か国が賛同しました。南アフリカなどの抱え国は、わが国にも賛同の署名を求めました。

しかし、日本政府は署名せず、世界の期待を裏切りました。人類はいかなる状況においても核兵器を使うべきではない、という文言を受け入れられないとすれば、核兵器の使用を状況によっては認めるという姿勢が日本政府を示していることとなります。これは二度と、世界の誰にも被爆の経験させないという、被爆国としての原点に反します。

インドとの原子力協定交渉の再開についても同じです。

NPTに加盟せず核保有したインドへの原子力協力は、核兵器保有国をこれ以上増やさないためのルールを定めたNPTを形骸化することになります。NPTを脱退して核保有をめざす北朝鮮などの動きを正当化する口実を与え、朝鮮半島の非核化の妨げにもなります。

日本政府には、被爆国としての原点に戻ることを求めます。

非核三原則の法制化への取り組み、北東アジア非核兵器地帯検討の呼びかけなど、被爆国としてのリーダーシップを具体的な行動に移すことを求めます。

核兵器保有国には、NPTの中で核軍縮への誠実な努力義務が課されています。これは世界に対する約束です。

2009年4月、アメリカのオバマ大統領はブラハで「核兵器のない世界」を目指す決意を示しました。今年6月にはベリンゲンで、「核兵器が存在する限り、私たちは真に安全ではない」と述べ、さらなる核軍縮に取り組むことを明らかにしました。被爆国はオバマ大統領の姿勢を支持します。

しかし、世界には今も1万7千発以上の核兵器が存在し、その90%以上がアメリカとロシアのもので、オバマ大統領、プーチン大統領、もっと早く、もっと大胆に核弾頭の削減に取り組んでください。「核兵器のない世界」を速く実現するのではなく、人間が早急に解決すべき課題として、核兵器の廃絶に取り組み、世界との約束を果たすべきです。

核兵器のない世界の実現を、国のリーダーだけにまかせるのではなく、市民社会を構成する私たち一人ひとりにできることがあります。

政府の行方によって再び戦争の惨禍が起こることのないやうにする」という日本国憲法前文には、平和を希求するという国民の強い意志がこめられています。かつて戦争で多くの人の命を奪い、心と体を深く傷つけた事実を、戦争もたらした数々のむごい光景を、決して忘れない、決して繰り返さない、という平和希求の原点を忘れないためには、戦争体験、被爆体験を語り継ぐことが不可欠です。

若い世代の皆さん、被爆者の声を聞いたことがありますか。「ノーマー・ヒロシマ、ノーマー・ナガサキ、ノーマー・ウオーン、ノーマー・ヒバコシキ」と叫ぶ声。

あなたは被爆者の声を聴覚していることできる最良の世代です。68年前、原子雲の下で何があったのか。なぜ被爆者は未来のために身を削りながら核兵器廃絶を訴え続けるのか。被爆者の声に耳を傾けてみてください。そして、あなたが住む世界、あなたの子どもたちが生きる未来に核兵器が存在しているのか、考えてみてください。互いに話し合ってみてください。あなたたちこそが未来なのです。

地域の市民としてできることもあります。わが国では自治体の90%が非核宣言をしています。非核宣言は、核兵器の犠牲者になることを拒み、平和を求め市民の決意を示すものです。宣言をした自治体でつくる日本非核宣言自治体協議会は今年、設立30周年を迎えました。皆さんが宣言を行動に移そうとするときは、協議会も、被爆者も、仲間として力を貸します。

長崎では、今年11月、「第5回核兵器廃絶—地球市民集会ナガサキ」を開催します。市民の力で、核兵器廃絶を被爆地から世界へ発信します。

東京電力福島第一原子力発電所の事故は、未だ収束せず、放射線の被害は拡大しています。多くの核が平穏な日々を突然奪われたうえ、将来の見通しが立たない暮らしを強いられています。長崎は、福島の日も早い復興を願い、応援していきます。

五月、核兵器廃絶を訴え、被爆者保護の充実を力をつくしてきた山口由二さんが亡くなりました。被爆者はいよいよよくなり、平均年齢は78歳を超えました。高齢化する被爆者の保護の充実をあらためて求めます。

原子爆弾により亡くなった方々に心から哀悼の意を捧げ、広島市と協力して核兵器のない世界の実現に努力し続けることをここに宣言します。

内閣総理大臣あいさつ(平成25年度)

本日、被爆68周年、長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に臨み、原子爆弾の犠牲となった方々の御霊に対し、謹んで、哀悼の誠を捧げます。今なお被爆者の後遺症に苦しんでおられる皆様へ、心から、お見舞いを申し上げます。

68年前の本日、一発の爆弾が、7万を上回る、貴い命を奪いました。12万人が暮らしていた家屋を全壊、全壊し、生き長らえた方々に、病と障害の、さらには生活上の、言葉に尽くせぬ苦難を強いました。

一度ならず、二度までも被爆の辛酸を嘗めた私たちは、にもかかわらず、苦しみ、悲しみに耐え立ち上がり、祖国を再建し、長崎を、美しい街として蘇らせました。今日は、犠牲になった方々の御霊を慰めるとともに、先人たちの奮闘と、達成に、感謝を捧げる日でもあります。

私たち日本人は、唯一の、戦争被爆国民であります。そのような者として、我々には、確実に、「核兵器のない世界」を実現していく責務があります。その非道を、後の世に、また世界に、伝え続ける務めがあります。

昨年、我が国が国連総会に提出した核軍縮決議は、米国並びに英国を含む、史上最多の99カ国を共同提案国として巻き込み、圧倒的な賛成多数で採択されました。

本年、若い世代の方々を、核廃絶の特使とする制度を始めました。来年は、我が国が一貫して主導する非核兵器国の集まり、「軍縮・不拡散イニシアティブ」の外相会合を、広島で開催します。

今なお苦痛を忍びつつ、原爆症の認定を待つ方々に、一日でも早くその認定が下りよう、最善を尽くします。被爆された方々の声に耳を傾け、より良い支援策を進めたいため、有識者や、被爆者代表を含む関係者の皆さまに、議論を急いで頂いています。

長崎の御霊を悼む朝、私は、これら責務に、旧に倍する努力を傾けていくことをお誓いします。

結びに、いま一度、犠牲になった方々の御冥福を、心よりお祈りします。ご遺族と、ご存命の被爆者の皆様には、幸多からんことを祈念します。核兵器の惨禍が再現されることのないよう、非核三原則を堅持しつつ、核兵器廃絶に、また、世界恒久平和の実現に、力を惜しまぬことをお誓いし、私のご挨拶といたします。

平成25年8月9日
 内閣総理大臣 安倍晋三

2013年(平成25年)8月9日
長崎市長 田上 富久

2 平和祈念像



基本情報

所 在：平和公園内 願いのゾーン
 住 所：長崎県長崎市松山町9
 (JR長崎駅より 長崎電気軌道「松山町」停留場 徒歩5分)
 建 立 者：長崎市
 建 立 年：昭和30年8月8日
 連 絡 先：長崎市 建設局 都市計画部 みどりの課 095-829-1171 (直通)

碑 文

【表左】

平和祈念像

【裏】

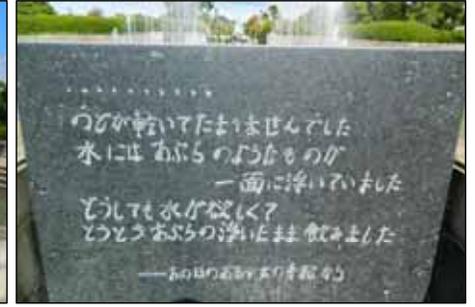
平和祈念像作者の言葉

あの悪夢のような戦争
 身の毛もよだつ凄絶悲惨
 肉親を人の子を
 かえり見るさえ堪えがたい眞情
 誰か平和を祈らずにいられよう
 茲に全世界平和運動の先駆として
 此平和祈念像が誕生した
 山の如き聖哲それは逞しい男性の健康美
 全長三十二尺餘
 右手は原爆を示し左手は平和を
 顔は戦争犠牲者の冥福を祈る
 是人種を超越した人間
 時に佛時に神
 長崎始まって最大の英断と情熱
 今や人類最高の希望の象徴
 昭和三十年 春日 北村西望

【表右】

平和祈念像建立のことは
 昭和二十年八月九日午前十一時二
 分、一発の原子爆弾が、この地上空
 でさく裂し、方五軒一帯を廃きよと
 化し、死者七万三千余、傷者また七
 万六千余におよんだ。
 哀愁悲憤の思いは、今もなお胸を
 裂くものがある。
 私ども生き残った市民は、被爆諸
 霊の冥福を祈り、かつ、この惨禍が
 再び地上にくり返されることを防ぐ
 ために、自ら起って、世界恒久平和
 の使徒となることを決意し、その象
 徴として、この丘に、平和祈念像の
 建立を発願した。
 かくて、私たちは、平和祈念像建
 設協賛会を組織し、内外の熱烈な協
 賛のもとに、昭和二十六年春、工を
 起してより、ここに四年、念願の像
 を完成し、除幕の式を挙げた。
 この日原爆十周年の日の前日であ
 る。
 私は、三十万市民とともに、この
 平和祈念像が、万人に仰がれ、世界
 平和の保持に大きな貢献をなすもの
 と信ずる。
 昭和三十年八月八日
 長崎市長 田川 務

3 平和の泉



基本情報

所 在：平和公園内 願いのゾーン
 住 所：長崎県長崎市松山町9
 (JR長崎駅より 長崎電気軌道「松山町」停留場 徒歩5分)
 建 立 者：平和の泉建設委員会
 建 立 年：昭和44年8月3日 (昭和60年8月改修)
 連 絡 先：長崎市 建設局 都市計画部 みどりの課 095-829-1171 (直通)

碑 文

【表】

.....
 のどが乾いてたまりませんでした
 水にはあぶらのようなものが
 一面に浮いていました
 どうしても水が欲しくて
 どうとうあぶらの浮いたまま飲みました

—あの日のある少女の手記から

【左側碑】

平和の泉
 長崎市長
 諸谷義武書

【右側碑】

核兵器禁止平和建設国民会議
 平和の泉建設委員会
 昭和44年8月3日建立

説 明 文

平和の泉
 昭和20年8月9日原爆のため体内まで焼けただれた被爆者は「水を」
 「水を」とうめき叫びながら、死んでいきました。
 その痛ましい霊に水を捧げて、めい福を祈り、あわせて世界恒久平和を
 祈念するため、核兵器禁止世界平和建設国民会議と長崎市は、全国からの
 浄財を基として、ここに「平和の泉」を建設しました。
 今日、ここを訪れてくださいましたあなたに、めい福を祈り、平和を祈念
 していただければ、誠に幸いと存じます。

長崎市長

噴水池の直径：18メートル
 噴水の高さ：0.5～6メートル
 刻々と変化する水形は、平和のはとの羽ばたきを形どり
 つるの港といわれる長崎港のつるも象徴しています

4 戦災復興記念



基本情報

所 在：平和公園内 願いのゾーン
 住 所：長崎県長崎市松山町9
 （JR長崎駅より 長崎電気軌道「松山町」停留場 徒歩5分）
 建 立 者：長崎県
 建 立 年：昭和50年11月14日
 連 絡 先：長崎市 建設局 都市計画部 みどりの課 095-829-1171（直通）

碑 文

【表】

戦災復興記念

【左側面】

1975
 NAOKI
 TOMINAGA

説 明 文

昭和20年8月9日午前11時2分、一個の原子爆弾によって長崎市は、一瞬のうちにその大半が焦土と化した。その範囲は爆心地からおよそ3.5キロメートル、面積約6.7平方キロメートルに及び、死傷者約14万9千人、被災家屋1万8千余戸に達した。昭和21年9月「戦災復興計画基本方針」にもとづき、復興土地区画整理区域を決定、直ちに事業に着手した。混乱した戦後の社会状況のなかで、しかも当時としては画期的な大事業であったが関係者の協力のもと、幾多の困難を克服し着手以来28年余の歳月を費やし、昭和50年2月に完了するにいたった。戦禍の街は、今や希望と繁栄に輝く平和都市として再現されたのである。ここに都市再建の業績を記録し、記念碑を建立する。

昭和50年11月14日
 長崎県知事 久保勘一

5 長崎の鐘



基本情報

所 在：平和公園内 願いのゾーン
 住 所：長崎県長崎市松山町9
 （JR長崎駅より 長崎電気軌道「松山町」停留場 徒歩5分）
 建 立 者：長崎県被爆者手帳友の会 長崎県動員学徒犠牲者の会
 建 立 年：昭和52年7月20日
 連 絡 先：長崎市 建設局 都市計画部 みどりの課 095-829-1171（直通）

碑 文

【表】

長崎の鐘

【鐘下】

碑文

長崎の鐘よ鳴れ
 長崎の鐘よ鳴れ
 私達の肉親を奪った
 私達のからだをむしばんだ
 あの原爆が
 いかにも恐ろしいものであるか
 あの戦争が
 いかにも愚かなものであるか
 長崎の鐘よひびけ
 長崎の鐘よひびけ
 地球の果てから
 果ての果てまでも
 私達の願いをこめて
 私達の祈りをこめて

昭和五十二年七月二十日
 長崎県被爆者手帳友の会
 長崎県動員学徒犠牲者の会
 会長 深堀勝一
 松岡國一 刻

【後方碑】

動員学徒
 女子挺身隊
 徴用工
 一般市民

原爆殉難者之碑

【下部】

製 作 潤製作所
 デザイン 深堂隆一

【右側碑】

長崎の鐘

【入口右側碑】

長崎県被爆者手帳友の会

【入口左側碑】

長崎県動員学徒犠牲者の会

6 原子爆弾落下中心地碑



基本情報

所 在：平和公園内 祈りのゾーン
 住 所：長崎県長崎市松山町5
 （JR長崎駅より 長崎電気軌道「松山町」停留場 徒歩5分）
 建 立 者：長崎市
 建 立 年：昭和31年3月
 連 絡 先：長崎市 建設局 都市計画部 みどりの課 095-829-1171（直通）

碑 文

【左】

昭和二十年八月九日
 午前十一時二分、一発
 の原子爆弾が、この地
 の上空五〇〇メートル
 でさく裂し、一瞬、七
 三、八〇〇人の尊い生命
 を奪い、七六、七〇〇人
 の負傷者を出した。同
 時に、家屋の焼失一、
 五〇〇戸、全壊又は大
 破したもの六、八〇〇戸、
 この地を中心として、

二・五キロメートルに及
 ぶ地域が壊滅した。そ
 の惨状は筆舌に尽し難
 い。
 ここに原子爆弾落下
 の中心地を示すためこ
 の碑を建てる。

昭和三十一年三月
 長崎市長 田川 務

【右】

原子爆弾落下中心地

原爆殉難者名奉安の説明

【表】

原爆殉難者名奉安

【左側面】

原爆死没者名奉安数
 162,083人
 平成25年8月9日現在

7 平和を祈る子の像



基本情報

所 在：平和公園内 祈りのゾーン
 住 所：長崎県長崎市松山町5
 （JR長崎駅より 長崎電気軌道「松山町」停留場 徒歩5分）
 建 立 者：長崎平和折鶴会
 建 立 年：昭和42年8月9日
 連 絡 先：長崎市 建設局 都市計画部 みどりの課 095-829-1171（直通）

碑 文

【表】

平和を祈る子

原子雲の下で
 母さんにすがって泣いた
 ナガサキの子供の悲しみを
 二度と、くりかえさないように

大砲の音が
 二度となりひびかないように
 世界の子供のうえに、いつも
 明るく太陽が輝いていますように

長崎平和の折鶴会

8 浦上天主堂遺壁



基本情報

所 在：平和公園内 祈りのゾーン
 住 所：長崎県長崎市松山町5
 （JR長崎駅より 長崎電気軌道「松山町」停留場 徒歩5分）
 移 設 者：長崎市
 移 設 年：昭和33年
 連 絡 先：長崎市 建設局 都市計画部 みどりの課 095-829-1171（直通）

説明文

浦上天主堂遺壁

爆心地から北東へ約500mの小高い丘にあった浦上天主堂は、1895年（明治28年）から建築に着手し、信徒たちの献金と労働奉仕により、1914年（大正3年）に献堂式を挙げるにいたった。そして、1925年（大正14年）に正面の双塔が完成し、大小の鐘が吊された。

東洋一の壮さを誇った天主堂であったが、1945年（昭和20年）8月9日、午前11時2分、原子爆弾のさく裂により破壊され、わずかにまわりの壁を残すのみとなった。この側壁は聖堂の南側の一部で、1958年（昭和33年）に新しい天主堂建設のためこの地に移築されたものであり、壁上の石像はザベリオと使徒である。しかし、風雨にさらされて傷みが進んだため、安全性を考慮して現在の形状のまま内部及び表面の補強を行った。

長崎市は原爆で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、二度とこのような惨禍が繰り返されないことを願って、この銘板を設置する。

2001年（平成13年）3月 長崎市（原爆資料館）

9 原爆殉難教え子と教師の像



基本情報

所 在：長崎市平和会館前
 住 所：長崎県長崎市平野町7-8
 （JR長崎駅より 長崎電気軌道「浜口町」停留場 徒歩5分）
 建 立 者：原爆殉難教え子と教師の像建立委員会
 建 立 年：昭和57年8月3日
 連 絡 先：長崎市 建設局 都市計画部 みどりの課 095-829-1171（直通）

碑文

【表】

原爆殉難教え子と教師の像

【左側面】

日本芸術院会員
 富永直樹作

【手前左碑】

人の命が尊ばれますように

【手前右碑】

世界が平和でありますように

【左側面】

昭和二十年八月九日。原子爆弾の劫火とすさまじい爆風は、一瞬にして長崎の北部一帯を廃墟と化し、十四万有余の市民を殺傷した。さながら地獄のごとき様相は、核兵器の恐るべき脅威を示すものであった。

この日、家にいた国民学校児童五千八百余、報国隊として工場に出勤していた千九百余の生徒たちは、百有余の教師と共に即死、または放射線によりつぎつぎと尊い命を奪われた。

年を経るに従い、この悲惨な事実が忘れ去られることは忍び難く、県内外の教職員及び有志の協力により、亡きみ霊の安らかならんことを祈念し、再びかかる惨禍をくり返さぬことを誓いここにこの像を建立するものである。

昭和五十七年八月三日
 原爆殉難教え子と教師の像建立委員会

建 立 発 起 団 体
 長崎県校長会
 長崎県高等学校長協会
 長崎県私立中学・高等学校協会
 長崎県教職員組合
 長崎県高等学校教職員組合
 長崎県教職員連盟
 長崎県私立学校教職員組合懇談会
 長崎県教育会
 長崎県退職校長会
 長崎県公立高等学校退職校長会
 長崎大学玉園同窓会
 長崎県退職教職員等連合協議会
 長崎県退職婦人教職員協議会
 長崎県原爆被爆教職員会
 長崎県高等学校新教職員組合

